

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） こどもの健康と安全		授業の種類 （ 講義・ 演習 ・ 実 習 ）		授業担当者	当該科目に関 する実務経験
				河村 和代	保育士
授業の回数 15 回	時間数（単位数） 30 時間（1 単位）	配当学年・時期 2 年・後期		必修・選択 必修	
[授業の目的・ねらい] ・ 近年のデータを踏まえ、子どもの健康・安全を配慮することの必要性を理解する。 ・ 保健的対応について正しく理解し、緊急時に適切な対応が取れる。 ・ 子どもの健康・安全を管理するためのガイドラインや実施体制について把握する。 [授業の概要] 子どもの健康や安全を守るために必要な基礎的な知識を習得し、適切な保育環境の在り方について考える。また、万一の場合に備え、保育士として適切な対応が取れるような技術を身に付ける。 [授業終了時の達成課題（到達目標）] ・ 子どもの健康や安全を守るために必要な基礎的な知識や技術を習得している。 ・ 子どもの健康・安全に配慮した保育環境を構成することができる。 ・ 子どもの健康・安全を管理するため仕組みの概要を理解している。					
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] 1. オリエンテーション、子どもの健康・安全に配慮した保育環境 2. 保育における保健的対応の基本 3. 保育における保健活動の計画及び評価 4. 衛生管理 5. 感染症の予防と対応 6. 事故防止及び安全対策 7. 危機管理 8. 災害への備え 9. 身近な環境における安全への配慮 10. 緊急時における子どもへの処置と対応法 11. 3歳未満児への保健的対応 12. 個別的な配慮（慢性疾患、アレルギー性疾患等）を要する子どもへの対応 13. 障害のある子どもへの対応 14. 健康及び安全管理の実施体制 15. 期末試験					
[使用テキスト] ◎『やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズよくわかる子どもの保健（使用テキスト）』 竹内義博・大矢紀昭（編）／ミネルヴァ書房 ※必要に応じて適宜、資料を提示する					
[成績評価の方法と基準] 教科出席率が 80％以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 ・ 考查点(75％) ・ 到達目標の修得状況を測るために、筆記試験により期末考查を実施する。 ・ 平常点(25％) ・ 事前課題を期限までに提出し、その内容が課題に沿ったものである。 ・ 授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。					